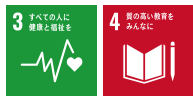


要請番号 (JL73022B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
セルビア	G133 剣道		個別	交替 3代目	2年	・ 2023/2 ・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

欧州統合省

2) 配属機関名 (日本語)

セルビア剣道連盟

3) 任地 (ベオグラード) JICA事務所の所在地 (ベオグラード)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

セルビアでは旧ユーゴスラビアの時代から剣道がおこなわれている。同連盟は、その中核的機関として、セルビアにおける剣道の普及とレベルの向上に努めている。現在、国内に約10の剣道クラブが存在し、約200名程度が所属している。常時稽古を継続している人は150名程度であり、その内ベオグラードでは70名ほどが稽古を継続し、有段者である。1989年より欧州剣道連盟のメンバー、世界剣道連盟のメンバーでもある。年間予算は約2万ユーロ。過去には、短期シニアボランティア1名、長期シニアボランティア2名が活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

剣道連盟の歴史は長いが、旧ユーゴスラビア解体等の経緯を経た現在、競技レベルは停滞している。そのため、競技レベルの向上と、剣道を通じた心身の鍛錬と、セルビア人コーチでは伝えきれない剣道精神を伝えて欲しいと考えている。また、剣道の基礎技術の向上、日本での経験に基づく指導技術の向上も期待されている。そのほか、セルビア人の日本に対する関心の高さを背景に、ボランティアには、同国における剣道の振興、日本理解促進の役割も期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ベオグラード市内の4つの道場を中心に配属先の同僚らと共に以下の活動を行う

- 各剣士のレベルにあった適切な指導を行う。
- 指導者層を対象に効果的な指導方法を伝える。
- 剣道人口を広めるための子どもたちへの指導を支援する。
- 剣道の精神を稽古を通じて分かりやすく伝える。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

道場(多目的スポーツホール)、防具、竹刀、木刀など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

剣道連盟会長(男性、3段、50代)
事務局長(男性、2段、40代)
コーチ4名(男性、4段3名、5段1名)

活動対象者:
メンバー約200名(有段者70名)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(剣道五段)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 5年以上 備考：指導上必要

[参考情報]：

- ・居合道への関心も高く居合道の有段者であるとなお良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(湿潤大陸性気候) 気温：(-15～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

活動の一部及び日常の生活では現地語(セルビア語)を使用し、赴任後に現地にて学習する。